

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 日本ピラー工業株式会社

上場取引所 東大

コード番号 6490 URL <http://www.pillar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩波 清久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 大岩 輝雄

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

TEL 06-6305-2801

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	11,123	△25.1	△80	—	△286	—	△387	—
21年3月期第3四半期	14,856	—	803	—	803	—	103	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△15.65	—
21年3月期第3四半期	4.14	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	32,079	22,909	71.4	925.27
21年3月期	33,530	22,948	68.4	926.83

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 22,909百万円 21年3月期 22,948百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	0.00	6.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

なお、詳細は、平成22年2月5日公表の「平成22年3月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	△15.6	100	△69.2	△200	—	△350	—	△14.14

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

なお、詳細は、平成22年2月5日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご参照下さい。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	25,042,406株	21年3月期	25,042,406株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	282,290株	21年3月期	282,623株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	24,760,384株	21年3月期第3四半期	24,901,747株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競争状況・為替の変動等に関わるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページの「定性的情報・財務諸表等」3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、中国をはじめとした新興国向け需要拡大により輸出や生産に明るい兆しが見られるものの、雇用や設備の過剰感は解消されておらず円高の進行やデフレ圧力の高まりなどと相俟って、依然として不透明感漂う状況のまま推移しました。

このような環境の中、当社グループはお客様のニーズに応える迅速な新製品開発や国内外一体となった営業展開に努めてまいりましたが、設備投資動向の影響を受けやすいシール製品は依然として厳しい受注環境にあります。一方、半導体・液晶製造装置関連業界向けピラフロン製品は一部半導体メーカの設備投資が再開されたこともあり、回復の兆しが出てきています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高111億23百万円（前年同期比25.1%減）、経常損失2億86百万円（前年同期は経常利益8億3百万円）、四半期純損失3億87百万円（前年同期は四半期純利益1億3百万円）となりました。

連結売上高を製品部門別に見ますと、MS製品部門（メカニカルシール製品部門）は35億39百万円（前年同期比28.1%減）、GP製品部門（グラウンドパッキン・ガスケット製品部門）は29億90百万円（前年同期比12.1%減）、PF製品部門（ピラフロン製品部門）は45億25百万円（前年同期比30.0%減）、その他部門（不動産賃貸）は67百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少等により前期末比14億50百万円減の320億79百万円となりました。また、有利子負債（リース債務は除く）は、前期末比7億64百万円増の35億57百万円となりましたが、設備関係支払手形及び設備未払金の減少等により、負債合計は前期末比14億12百万円減の91億70百万円となりました。純資産は、その他有価証券評価差額金の増加に対し、利益剰余金の減少等により前期末比38百万円減の229億9百万円となりましたが、自己資本比率は前期末比3.0ポイント改善し71.4%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローは減価償却費12億3百万円等により、12億95百万円（前年同期は15億64百万円）となりました。これに対し、投資活動によるキャッシュ・フローは有形及び無形固定資産の取得による支出30億40百万円等により、△30億28百万円（前年同期は△19億78百万円）となりましたが、財務活動によるキャッシュ・フローは長期借入れによる収入12億30百万円が長期借入金の返済による支出4億65百万円を上回ったこと等により7億20百万円（前年同期は1億4百万円）となりました。

その結果、現金及び現金同等物は前期末比10億56百万円減少しましたが、連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加74百万円があり、当第3四半期連結会計期間末残高は39億23百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年11月6日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、平成22年2月5日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① 簡便な会計処理

連結子会社における四半期財務諸表の税金費用の計算については、税引前四半期純利益に前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じて計算する方法を採用しております。

##### ② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,053	6,035
受取手形及び売掛金(純額)	7,326	7,195
商品及び製品	624	602
仕掛品	1,018	873
原材料及び貯蔵品	532	438
その他	396	1,110
流動資産合計	14,952	16,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,341	8,059
機械装置及び運搬具(純額)	2,019	1,937
土地	3,718	3,718
その他(純額)	333	983
有形固定資産合計	14,412	14,698
無形固定資産	86	112
投資その他の資産	2,628	2,463
固定資産合計	17,127	17,274
資産合計	32,079	33,530
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,397	2,018
短期借入金	898	742
賞与引当金	232	473
その他	1,177	3,309
流動負債合計	4,705	6,544
固定負債		
長期借入金	2,633	2,024
退職給付引当金	1,534	1,384
その他	295	627
固定負債合計	4,464	4,037
負債合計	9,170	10,582

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,966	4,966
資本剰余金	5,190	5,190
利益剰余金	12,559	12,874
自己株式	△137	△137
株主資本合計	22,579	22,893
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	476	190
為替換算調整勘定	△145	△136
評価・換算差額等合計	330	54
純資産合計	22,909	22,948
負債純資産合計	32,079	33,530

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	14,856	11,123
売上原価	10,507	8,346
売上総利益	4,349	2,776
販売費及び一般管理費	3,545	2,857
営業利益又は営業損失(△)	803	△80
営業外収益		
受取配当金	57	26
その他	43	52
営業外収益合計	101	78
営業外費用		
支払利息	15	40
為替差損	44	—
減価償却費	19	169
その他	23	74
営業外費用合計	102	284
経常利益又は経常損失(△)	803	△286
特別利益		
補助金収入	—	91
貸倒引当金戻入額	1	1
特別利益合計	1	93
特別損失		
固定資産除却損	—	12
投資有価証券評価損	592	—
たな卸資産評価損	40	—
特別損失合計	633	12
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	170	△205
法人税、住民税及び事業税	230	136
法人税等調整額	△162	45
法人税等合計	67	181
四半期純利益又は四半期純損失(△)	103	△387

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	170	△205
減価償却費	985	1,203
賞与引当金の増減額(△は減少)	△301	△241
退職給付引当金の増減額(△は減少)	88	149
受取利息及び受取配当金	△64	△29
支払利息	15	40
投資有価証券評価損益(△は益)	592	—
売上債権の増減額(△は増加)	638	△108
たな卸資産の増減額(△は増加)	△241	△208
仕入債務の増減額(△は減少)	△53	380
その他	143	304
小計	1,974	1,285
利息及び配当金の受取額	64	29
利息の支払額	△15	△41
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△458	22
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,564	1,295
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,964	△3,040
その他	△14	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,978	△3,028
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	710	1,230
長期借入金の返済による支出	△102	△465
自己株式の取得による支出	△120	△0
配当金の支払額	△337	△0
その他	△44	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	104	720
現金及び現金同等物に係る換算差額	△67	△44
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△377	△1,056
現金及び現金同等物の期首残高	3,716	4,905
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	74
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,339	3,923

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## [事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

当社グループは各種の流体制御関連機器製品の製造販売を主事業とする専門集団ですが、一セグメントの売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

## [所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## [海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	1,060	527	1,588
II 連結売上高（百万円）			14,856
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	7.1	3.6	10.7

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	997	369	1,367
II 連結売上高（百万円）			11,123
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	9.0	3.3	12.3

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

アジア：台湾、韓国、シンガポール、中国

その他：北米、欧州、中東

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。